

はたちの主張

登米市に生まれ育ったことを誇りに 地域に貢献できるような努力をしたい

仕事のこと、地域のこと、目を向け 自分自身を高めていきたい



佐藤 幸貴さん (中田町)

これまでの20年間を振り返ってみると、とても短かったような気がします。

今までさまざまなことがありましたが、今日こうして成人式を迎えることができたのも、両親、学生時代にご指導いただいた先生方、多くの友人がいたからだと思っています。

この存在が私を一回りも二回りも成長させてくれました。私を支えていただいた周囲の方々に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。常に感謝の

この仕事を通じ、地域の方々が安心・安全に暮らしていけるよう、自分自身の知識・技術をさらに向上させるとともに、この登米市を災害に強いまちにしていきたい。も、日々、尽力していきます。

東日本大震災から間もなく3年がたちます。千年に一度といわれる震災を経験し、生きていく間は、もうこないだろうと思っている方も多いかと思えます。

またあのような地震がいつ来るかわかりません。学校や職場などで行う避難訓練でも、想定外のことが起きるのだということを意識して臨んでほしいと思います。そして、いざという時に自分自身に何ができるか、どうしな

ればならないのか、自分なりの考えを持つようにしてほしいと思います。

最後に、これからは一人の大人として見られ、自分自身の言動一つ一つに責任が出てきます。仕事だけでなく、プライベートでも、社会人としての自覚を持つようにしていきたいと思えます。

成人となったばかりで、まだまだ未熟ではありますが、この登米市に生まれ育ったことを誇りに思い、この地域に貢献できるように努力していきます。

新成人 親の思い
佐藤 寧彦さん (石越町・第10)

【智春さんの父】仙台の専門学校に自宅から通っています。これまでよく無事に育ってくれたというのが実感です。思いやりを持って人に接することができる大人になっ

加藤 真由美さん (追町・中江)

【ひかりさんの母】大学生で、東京で一人暮らしをしています。将来は、他人の役に立てるような大人になってほしいですね。自分の夢に向かって頑張ってください。

八嶋 千恵子さん (登米町・蛭沢)

【孝彦さんの母】名取市にある農業大学校で寮生活をしています。高校の時から親元を離れて生活しているので、生活面は特に心配はしていません。大人としての自覚を持ち、楽しく人生を送ってほしいですね。



忙しい時間の合間をぬって、成人式の準備や運営を支えた実行委員の皆さん



新成人の受付・案内にボランティアで協力してくれた登米高校の生徒たち



新成人の着物の乱れを直すボランティア。一生に一度の晴れの場を支えます

この日を区切りとし、自分が大人としてのスタートを切ったことを実感し、晴れやかな気持ちの中にも身の引き締まる思いを感じています。

私は、ふるさとの誇りでもある農業を支え、ここ登米市から農業をより良いものへと成長させていきたいと思っています。そのためには、私たちのような若者が農業に興味関心を持ち、それを次の世代へとつなげていくことが必要だと思っています。私は、自らの仕事を通して農業の良さ、これからの在り方を伝えていけるよう努力していきます。

私たちが二十歳を迎えたばかりで社会人としてはまだまだ未熟です。社会に出て働いている人、学生として勉学に励んでいる人、将来の自分像を探している人、さまざまです。しかし、成人として晴れの門出を迎えた今、私たち全員が一人の責任ある大人としての自覚を持ち、歩んでいく決意をここに誓います。どうか、これからも温かい目でご指導、ご鞭撻いただきま



及川 紫音さん (追町)

今、農業を取り巻く環境は決して良いとは言えませんが、

平成26年成人式

地区	人数
迫	228
登米	50
東和	66
中田	155
豊里	61
米山	91
石越	65
南方	99
津山	33
合計	848

登米市の新成人推移 (人)

年	男	女	合計
平成 26 年	433	415	848
平成 25 年	516	455	971
平成 24 年	460	432	892
平成 23 年	515	510	1,025
平成 22 年	522	525	1,047
平成 21 年	564	526	1,090
平成 20 年	633	577	1,210
平成 19 年	650	618	1,268
平成 18 年	628	682	1,310

●成人式での各地区の集合写真を市ホームページでご覧になれます。